

## スポーツと経済 GO! オダワラビーズ

ラグビーオーストラリア代表チーム（愛称：ワラビーズ 2018年10月現在 世界7位）が小田原をトレーニングキャンプ地として選んでくれたことをご存知の方も多と思います。まずは、今年、いや、もう今月ですが、10月27日横浜で行われるニュージーランド代表チーム（愛称：オールブラックス 世界1位）との公式戦の後、一週間ほど小田原に滞在しトレーニングします。

そして、来年2019年はいよいよワールドカップの本番です。9月20日から日本各地で試合があり、11月2日の横浜スタジアムでの決勝戦まで日本中が盛り上がるでしょう。（日本代表のガンバリしだいかもしれませんが）

さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは7人制の代表チームが来ます。

今年から最低3年間は世界のトップチームであるワラビーズが小田原に来てくれることになりました。

もちろん、ラグビー関係者の関心が高いのは当たり前ですが、それをスポーツ全般に広げたいですし、それだけでなく、市民交流やビジネス交流につなげていかないと何とも勿体ないことだと思います。この絶好機をゴールとしてではなく、キックオフにしたいと思います。

行政やスポーツ関係の方々とも連携していきながら、多種多彩な業種業態からなる地域の総合経済団体として活発に動いてまいります。当所ではそのために設置した「タスクフォース DACS」（デザイン、アート、カルチャー&スポーツの頭文字から命名、委員長は古屋正広氏）が主体となって活動を展開します。

まずは手始めに、東京にある在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所との交流を始めました。10月4日午後、アンドリュー・ガウチ会頭、メラニー・ブロック名誉会頭以下10名ほどのメンバーを小田原に招聘しました。新装なった小田原市陸上競技場やオーストラリアからの観光客も増えるであろう小田原城には、加部小田原副市長にもおでましいいただき視察をし、その後、山口箱根町長にもご臨席の下、当所の役員やDACSのメンバーと懇親を図りました。とてもいいスタートが切れたと思います。

スポーツをはじめアートやファミリーなど様々な市民レベル、観光も含めたビジネスレベルでの交流につながる取り組みを仕掛けていきます。会員の皆さんにおかれましては、ぜひ、ご自分のビジネスチャンスとして、当所の活動に積極的に関わっていただきたいと願っています。

さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けては、アフリカのエリトリア、アジアのブータン、ミャンマー、そしてモルディブがトレーニングキャンプを小田原でやることが決まっています。既存の湘南ベルマーレや大相撲なども含め、様々なスポーツの動きをどうしたら地域の経済の活性化に活かしていけるかについて、当所の役割は大きいと思っています。

会頭 鈴木悌介

追伸：「オダワラビーズ」という言葉を覚えてください。メラニー・ブロック名誉会頭の発案で、「ワラビーズが小田原に！」のキャッチコピーとして広まればいいなと思っています。